



新橋にある日本アセアンセンター

国際機関

日本 アセアン センター

日本とアセアン諸国との経済的な関係だけでなく、相互の歴史や文化を知り、尊重し合い、お互いの意識を高めていくことも大切だ。アジアのことを知るための第一歩として訪れてみよう。

国際機関 ● 東京都港区

ASEAN と日本の架け橋として、 貿易・投資・観光事業を推進

アセアン (ASEAN : Association of Southeast Asian Nations) とは、東南アジア諸国連合のことで、1967年東南アジア地域の平和と安定を実現させるため「地域の問題は、外部からの干渉を排除し、地域諸国自身によって解決する」という考えに基づいて設立された地域協力機構のこと。日本アセアンセンターの正式名称は、『東

南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター』という。ASEAN の発展には貿易、投資、観光の促進がASEAN と日本との友好関係促進のために重要であることを認識し、1981年、日本と当時のASEAN5カ国が加盟して設立した国際機関であり、現在、日本とASEAN全10カ国(ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)の計11カ国が加盟している。設立以来、ASEAN から日本への輸出の促進、日本からASEAN への投資と観光の促進を目的に、ASEAN 商品の展示・商談会や各種セミナー、ワークショップの開催、ミッションの派遣・招聘、人材育成、ASEAN 文化交流イベント、各種出版物の発行および情報提供など多岐にわたる事業を行っている。

ASEAN の生の情報を新橋から発信

2009年3月、日本アセアンセンターは事務所を新橋に移し、リニューアルオープンしたばかり。近代的なASEANをイメージして設計されたショールームやインフォメーションコーナーは、開放感にあふれた造りで親しみやすい雰囲気に包まれている。ビジネス関係者だけでなく、学校関係者や一般の方々を含め幅広い層が気軽に訪問し、ASEANを知り、ASEANに触れあうきっかけを提供している。

また、2009年にはベトナム展示会に始まり、ASEANヘルス&ウェルネス展、食品展、ギフト&ファッションアクセサリー展、ASEAN各国投資セミナーやその他様々な文化交流イベントなどの事業を新事務所にて開催する予定。

修学旅行や学校団体の訪問も歓迎

修学旅行生や学校団体の訪問についても積極的に受け入れている。まずは、日本アセアンセンターの役割を学び、ASEAN諸国の素顔に触れてみよう。ASEAN諸国は、各国独自の歴史や多様な伝統文化、宗教、自然、産業をもち、同



ASEAN 新商品の輸入促進商談会 (ASEAN 食品展等)

時に様々な問題も抱えている。それらの特徴を知ることでASEANがより身近になり、新たな発見と展開があるはずだ。

なお団体による訪問の場合、事前に予約が必要。時間や見学内容については特に決められていないので、直接訪問内容の相談ができる。訪問前に事前調べをしておくと、より充実した訪問見学になるはず。詳しい事前情報については各種出版物があるのでこちらも相談してみよう。

DATA

- 住所 / 〒105-0004 東京都港区新橋 6-17-19 新御成門ビル 1F
- TEL / 03-5402-8002 FAX/03-5402-8003
- 入館料 / 無料
- 開館時間 / 9時30分～17時30分
- 団体見学について / 要予約。訪問見学時間は約1時間。受け入れ最大50名(要相談)
- 休館日 / 土・日曜・祝日

<http://www.asean.or.jp>

アクセス

都営地下鉄三田線御成門駅 A4 出口から徒歩1分



ゆったりくつろぎながら ASEAN に触れてみよう



ASEAN 域内への投資促進セミナーを開催



ASEAN ツアーコンテスト受賞者との交流会

